

令和元年度 第3回 桜川市地域公共交通会議

- 【1】日時 令和元年10月18日 午後2時から  
 【2】場所 桜川市役所 大和庁舎2階 第5会議室  
 【3】会議次第 1 開会

- 2 あいさつ  
 3 議題

(1) 報告事項

- ①令和元年度桜川市・つくば市間広域連携バス及び桜川市デマンド型

乗合タクシーの利用状況について・・・・・・・・・・資料1

②第1回関東運輸局地域交通優良団体等表彰受賞について・・・・・・・・資料2

③高速バス「桜川・筑西ライナー」運行について・・・・・・・・資料3

④真壁高校バス停ベンチ設置について・・・・・・・・資料4

(2) 協議事項

- ①令和2年4月からの桜川市内巡回ワゴン運行計画（案）について

・・・・・・・・・・資料5

②桜川市公共交通網整備スケジュール（案）について・・・・・・・・資料6

③その他

- 4 その他  
 5 閉会

【4】出席者

(1) 委員

No.	所属	役職	氏名
1	桜川市	副市長	猪瀬 幸己
2	(有)内田タクシー	代表取締役	内田 守
3	岡田ハイヤー合資会社	代表社員	岡田 高利
4	(株)ワイズツーリスト	代表取締役	橋本 慶晴
5	関鉄パープルバス(株)	代表取締役社長	長津 博樹
6	桜川市区長会連合会	会長	高橋 達也
7	桜川市高齢者クラブ連合会	会長	斉川 芳男
8	NPO ウィメンズネット「らいず」	会員	谷口 典枝
9	桜川市市議会 総務常任委員会	委員長	大山 和則
10	茨城県政策企画部交通局交通政策課	副参事	酒井 雄一
11	筑西土木事務所 道路管理課	課長	早瀬 泰俊
12	関鉄パープルバス(株)	労働組合 自動車部長	増山 康信
13	桜川警察署交通課	課長	安島 優吉
14	地域公共交通マイスター	学識経験者	為国 孝敏
15	桜川市商工会	会長	皆川 光吉
16	桜川市観光協会	副会長	林 清

17	桜川市	市町公室長	柴 保 之
18	桜川市	教育部長	佐 藤 勤
19	桜川市	保健福祉部長	原 広 子
20	桜川市	建設部長	内 山 久 光

【5】欠席者

(1) 委員

No.	所属	役職	氏名
1	(株) みやま	代表取締役	沼 口 照 市
2	真壁観光	代表取締役	土生都 恵美子
3	桃山レンタカー	代表取締役	飯 山 進
4	坂戸自動車工業	代表	稲 川 安 雄
5	茨城県バス協会	専務理事	澤 畠 政 志
6	茨城県ハイヤー・タクシー協会	専務理事	服 部 透
7	桜川市 PTA 連絡協議会 女性ネットワーク委員会	委員長	関 光 代
8	関東運輸局 茨城運輸支局	首席運輸企画専門官	皆 川 誠 司
9	関東運輸局 茨城運輸支局	首席運輸企画専門官	山 下 明

【6】事務局 桜川市市長公室企画課 秋山健一、稲葉正典、鶴見健太郎、大和田泰宏（記録）

【7】会議の経過

(1) 報告事項

①令和元年度桜川市・つくば市間広域連携バス及び桜川市デマンド型乗合タクシーの利用

状況について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料1

事務局：資料説明

委員：さくらがわ地域医療センター無料送迎ワゴンについて、利用者合計数の報告がありました  
ましたが、1台あたりの乗合率を把握されているのであれば教えていただきたい。

事務局：この無料送迎ワゴンは、3台の車両により運行されています。利用者からの事前の希望  
に基づいて運行ルートを決める方法を用いており、空車で運行はございません。ただ、  
1台あたりの平均乗合率等に関しては、現在のところ把握できておりませんので、今後、  
病院側へ情報の提供について依頼いたします。

※詳細については、「資料1」を参照のこと。

②第1回関東運輸局地域交通優良団体等表彰受賞について・・・・・・・・・・・・・・・・資料2

事務局：資料説明

委員：地域に根差した取り組みを一つ一つ丁寧に行うことで、ヤマザクラGOやデマンド型  
乗合タクシーの利用状況の実績からも見て取れるように、着実な成果に結びついてい

るのではないかと思います。

委員：10月8日に江戸東京博物館大ホールにおいて、関東運輸局主催の公共交通シンポジウム2019があり、出席させていただきました。運輸局管内の行政団体や交通事業者等から約300名の方々がお集まりのこのシンポジウムの中で、市担当者より桜川市の取り組みについてプレゼンテーションをされたということで、PRに繋がるのではないかと思います。

※詳細については、「資料2」を参照のこと。

③高速バス「桜川・筑西ライナー」運行について・・・・・・・・・・・・・・・・資料3

事務局：資料説明

委員：利用促進を図っていくうえで、運行時間帯によっては、所要時間が3時間を超えていることが隘路として考えられます。鉄道などと比較して交通の便が良いという状態に移行させることにより、利用者の増加を見込むことができるのではないのでしょうか。

委員：利用者の立場からすると、運賃に加え、到着時間や駐車料金等も勘案し、公共交通機関を選択するため、例えば、イベントと連携した特典付きチケットの販売などに取り組むことも、差別化を図り、利用者を確保するための方策の一つとして有効なのではないかと考えます。

※詳細については、「資料3」を参照のこと。

④真壁高校バス停ベンチ設置について・・・・・・・・・・・・・・・・資料4

事務局：資料説明

委員：この取り組みのように、地元の方々にも協力していただきながら、バス待ち環境を整備していくことは、地域公共交通の維持・改善を実現していくために重要であります。

※詳細については、「資料4」を参照のこと。

## (2) 協議事項

①令和2年4月からの桜川市内巡回ワゴン運行計画(案)について・・・・・・・・資料5

事務局：資料説明

委員：利用者としては、どれくらいの年齢の方を想定しているのですか。

- 事務局：主に70代から80代の年齢層を利用対象者として考えております。
- 委員：曜日によって運行するルートが異なるとのことですが、曜日や系統により区分した運行時刻表が作成されるという解釈でよろしいか。
- 事務局：今回の資料は、運行車両の配車に重きを置いた時刻表ですが、今後、系統ごとにバス停に掲示する時刻表等を作成するとともに、利用者にとって分かり易い運行ガイドの発行なども行う予定でございます。
- 委員：平日に運行系統10ルートをそれぞれ週2日程度の頻度で運行するとのことですが、例えば、月曜日と水曜日において基本的に時刻表は同じなのですか。
- 事務局：ルートごとに距離が異なり、このことに伴い所要時間も変わるため、若干の違いがございます。併せて、月曜日と水曜日、そして金曜日については巴の形となっており、組み合わせが異なることも時刻表の違いを生んでいます。ただ、火曜日と木曜日に関しては、全く同じダイヤグラムであります。バス停に掲示する時刻表の表示方法などに注意を払い、利用者に誤解が生じることのないように努めていきたいと考えております。
- 委員：来年を目処に防災課では、防災アプリを作り運用していくとの話がありますので、連携について検討していただきたい。
- 事務局：関係課とも協議を進め、連携を模索していきたいと思っております。
- 委員：アプリも含めて、利用者へと情報を伝える方法は多様化しているため、工夫を凝らしつつ情報の提供に努めていただきたい。
- 委員：この市内巡回ワゴンは、ヤマザクラGOとの乗り継ぎを考慮したダイヤ編成になっているのですか。
- 事務局：今回のダイヤ編成にあたっては、スーパーマーケットの開店時間や運転手の休憩時間のほか、利用者の買い物等の所要時間にも配慮しているということもあり、ヤマザクラGO並びにJR水戸線との接続時間の調整については、さほど利いていない状況であります。今後、運行事業者とともに試走を重ねる中で、微調整を行い、可能な限り前述の二つの公共交通機関との接続も実施したいと考えております。
- 委員：3年間の実証実験運行を行う中で、利用方法が定着するとともに、乗り継ぎも一般化した時には、このようなことを踏まえたダイヤ編成が求められるのではないかと思います。

※決定とする。詳細については、「資料5」を参照のこと。

## ②桜川市公共交通網整備スケジュール（案）について・・・・・・・・・・資料6

事務局：資料説明

- 委員：市バス「ヤマザクラGO」や高速バス「桜川・筑西ライナー」に加え、令和2年4月からは市内巡回ワゴンも発着する岩瀬駅バス停について、利用者は増加していますが、現在のところ上屋が設置されていないため、待合所の整備を含めたバス待ち環境の改善を要望いたします。また、ヤマザクラGOの利用者の増加に伴い、朝の時間帯には遅れが生じておりますので、運行時刻の見直し等も必要であると考えております。併せて、桃山学園バス停について、児童の利用がない時間帯は、わざわざ狭い道に入る

必要はないのではないかという利用者からのご意見もございますので、今後、協議を進めていければと考えております。

事務局：岩瀬駅バス停における待合所の必要性について、こちらでも認識しており、土地を管理している都市整備課と協議していきたいと考えております。また、桃山学園バス停付近におけるバスの遅れに関して、特に雨の日などは、父兄の方が学校へ児童を送る際に交通渋滞が発生することで、身動きのとれない状態が生じているとのお話を市民の方からいただいております。運行時刻に遅れの生じてしまう状況が続くようであれば、時刻の見直しのほか、登下校の時間帯以外は、別の運行ルートを設定することなどについても相談させていただきたいと思っております。

委員：桃山学園バス停付近は、登校時間帯に自転車で通学する中学生や徒歩で通学する小学生などで大変混み合っている状態にあります。雨の日などは、さらに混雑してしまうため、ルートの変更も含め検討していただきたいと思っております。一方、酒寄南バス停については、9月1日より、これまでの八百初商店敷地内から県道沿いへと移動させる変更が行われたことによって、スムーズな運行が可能となりました。

※決定とする。詳細については、「資料6」を参照のこと。

③その他  
特になし

その他

事務局：桜川市内巡回ワゴンに係るラッピングデザインの依頼状況と市内の小中学生を対象に実施している愛称募集の状況について報告